

## インドシナ道中記

カンボジアは大分、それも16世紀から17世紀初頭の頃の府内と深いつながりがあります。その頃の日本人は現代では考えられないほど国際人で、それこそ万里の波頭をものともせず、東シナ海はおろか南シナ海すらも乗り越えて行き来していたのです。キリシタン南蛮文化を情報発信の中心に据えるためにも、わたしは一度インドシナに行きたいと考えていました。今回はやっと実現した短い旅行を通して、そんな歴史を振り返ってみたいと思っています。

### 3. サンタ・マリアの鐘・大航海時代のインドシナ

キリシタン南蛮文化発信都市である大分市の複合施設ホルトホールに隣接している「カフェ・南蛮珈琲館」に「サンタ・マリアの鐘」という名の青銅製の鐘があります。キリシタンの布教が許されていた時代に、天草のどこかの教会で時刻をつけていたキリシタン遺物です。イエズス会の紋章と1570という数字が刻まれています。

この1570年という年は天草の地方豪族のひとり天草鎮尚が授洗してドン・ミゲルになった年で、それを祝って天草諸島の各地に教会や礼拝所が建てられています。「サンタ・マリアの鐘」もそのいずれかの教会で時を告げていたのです。その後の島原の乱とキリシタン弾圧の暗黒時代を、おそらくは土深く埋めて隠されて錆びつくことなく時を経て、天草の個人の博物館に置かれていました。その収集された個人が亡くなられて遺物が散逸する中、縁あって大分の地に辿りついたという訳です。実は「サンタ・マリアの鐘」と名付けたのはわたしです。イエズス会は聖母マリアに操をささげ、聖母を守り神とする宗教集団です。そのイエズス会の紋章が入っている鐘ということで、わたしが勝手に呼び始めました。



世紀半ばのインドシナは、大航海時代の貿易の十字路であり、この鐘をもたらしたポルトガル船だけでなく、遠くはオランダや

ところで、青銅は銅と錫を主成分とする合金ですが、微量に含まれる鉛や亜鉛などの不純物の量などから鑄造された時代や場所が推定されるそうです。この鐘は専門家から16世紀にインドシナで鑄造されたものと鑑定されています。16



スペイン、イギリスなどヨーロッパの列強が来ていました。その上スマトラ島北部のアチェという国は既にイスラム化されていて、対岸のポルトガルの拠点マラッカを脅かしていました。更には中国人が大挙してきていましたし、16世紀末にはヴェトナム中部のホイアンに日本から朱印船・倭寇（私貿易船）が来ていました。意外なことに当時、メコン川を遡ってカンボジアのプノンペンまで外洋船が来て交易をしていたそうです。

14世紀から15世紀のヨーロッパは戦争に明け暮れていましたし、キリスト教国とイスラムとの宗教戦争も凄惨を極めていました。中国は明の時代ですが内憂外患の連続で中央政府が弱体化していました。日本は戦国時代です。つまり当時、インドシナ半島に来ていた外国人はみな戦争中の国から来ていたこととなります。特にヨーロッパからは最新式の火器とそれを使った戦術、頑強な城や砦の建設技術を持ち込まれました。彼らの目的は交易であり、その主要産物は丁子、ナツメグ、胡椒などの香辛料でしたが、それぞれ自国の、あるいは自分たちの宗教の権益の確立のためには武力の行使もためらいませんでした。権益は地域の人々にとっても利害の対立を生み、それぞれの利益のために外国勢と組み、多民族間だけでなく同じ民族同士でさえも血を流す抗争を繰り返していたようです。この時代のインドシナは暗黒時代と呼ばれているくらいです。振り返って、当時の日本がインドシナと同じ運命をたどらなかったのは何故なのか考えさせられました。

カボチャは日本国内で地方によっていろいろな名前と呼ばれています。カボチャ、ボーブラ、南京、唐茄子などがありますが、カボチャの原産地は南北アメリカ大陸です。まさしく大航海時代の農産物と言えます。そのカボチャの呼び名の由来がカンボジアであることは有名ですが、南京は中国語の南瓜から来ていますし、唐茄子は外国から来た茄子ということでしょうか。

大分県などで使われているボーブラはポルトガル語です。ポルトガル人が大友宗麟に献上したという記録も残っています。つまりポルトガル人がカンボジアから持ち込んだということが想像できます。大分にはその時のカボチャが今でも伝わって

いて南蛮カボチャと呼ばれていますが、大きいのは大きいのですが水っぽく、繊維が多くてあまり美味しくありません。ポルトガルでもこの古い品種のカボチャ（ア・ボーブラ）は茹でて裏ごししたものを練り菓子にすることが多いようです。

カンボジアと言えばわたしたちには「アンコールワット」しか浮かんでこないのですが、実は大友宗麟の時代から繋がりがあったことに思いを馳せてみると、また違った印象を抱くことができそうです。



大分市ではポルトガル人から大友宗麟に献上されたこのカボチャ（ボーブラ）にちなんで、苗の無料配布をしています。残念ながら美味しくはありませんが。